

# ニュージーランドに行ってきました!



8月16日～26日、町内の中学3年生12人が、夏休みを利用してニュージーランド(以下「NZ」)に行き、異国の文化や生活習慣を体験しました。参加者からの報告です。



## NZ派遣団長レポート 「平成24年度中学生海外派遣事業に参加して」

教育長 坂本 勝

私たち訪問団(佐賀中学校7人、大方中学校5人、引率者4人)は、8月16日から26日まで、NZを訪問しました。

この事業は生徒たちが異国の文化や生活に直接肌で触れることにより、国際化、情報化社会に対応できる広い視野

と感覚を持った人材を育成することを目的として実施されています。今年度は応募者24人の中から選抜された12人の生徒が訪問しました。

### ◆16日(木)出発

早朝の出発式の後、家族や先生方、町長に見送られながら佐賀支所を出発。伊丹空港経由で関西国際空港へ到着。18時45分に関西国際空港をNZへ向けて出発しました。

### ◆17日(金)NZ着・オークランドからロトルアへ

翌朝8時30分にオークランド空港へ到着、11時間の空の旅でした。オークランドは雨上がりの天気で、思っていたよりも暖かく、日本の3月ごろの気候でした。その後現地JTB専用のバスでロトルアへ。車窓からの景色は広々として、緑豊かな丘陵地帯が続き、緑の中に羊や牛がのんびりと草を食んでいます。

昼食後、市内にあるNZの自然をそのまま残した公園・レインボースプリングスへ。国鳥に指定されている飛べない鳥のキウイをはじめ、珍しい動植物をたくさん見ることができました。

その日の宿泊地・ロトルアはNZで2番目に大きいロトルア湖周辺に広がる町で、今なお先住民族マオリの伝統文化が残っています。夜はマオリの昔の暮らしや、歌や踊りを見ることのできる「タマキ・マオリ村」を見学。戦闘の踊りである「ハカ」という迫力のある踊りを見て、生徒たちも感動した様子でした。夕食は食材を蒸し焼きにしたハンギ料理をいただきました。

### ◆18日(土)フェアフィールド・ド・ホームステイ先へ

ホテルを8時50分に出発。途中ロトルア湖畔で休憩を取った後、ハミルトン市にある交流先のフェアフィールド中学校へ向かいました。14時に到着すると、すでに担当者イアン先生夫妻と、ホストファミリー数家族が待っており、子どもたちは対面後、すぐにホームステイ先へと向かいました。生徒たちは少し緊張し不安そうな面持ちでしたが、なんとか頑張っていたと思いつながり見送りました。

### ◆19日(日)ホストファミリーと自由行動

20日(月)フェアフィールド中学校で歓迎式と授業

8時30分に学校へ着くと数名の生徒が既にESOL(英語を母国語としない人のためのクラス)にきています(フェアフィールド中学校は留学生を積極的に受け入れており、現在も数カ国からの留学生が在籍しています)。生徒たちはみな表情が明るく、「なんとか言葉も通じ、意思疎通ができた」「ショッピングセンターに連れて行ってもらった」「ボーリングに行っていた」「N

Zの人は夜、寝るのが早い」と、土日の出来事などを話しています。ホームシックになつていないようなので安心しました。

2時間目の授業で歓迎セレモニーがあり、マオリ族のハカの歌と踊りを披露してもらった後、私たちはイアン先生の案内で、学校施設を見学しました。学校は敷地が広く、3〜4つの教室が一緒になった程度の平屋の校舎がいくつも配置されており、大ホール、広いスペースの図書室や特別教室に、放送設備も充実。特にパソコンは500台以上あり、パソコンを使つての授業が多いのが特徴です。

### ◆21日(火)各クラスで授業

生徒たちもずいぶんクラスになじんだようで、隣の席の生徒に聞いたりしながら、授業を受けています。グループや個人でそれぞれの課題を持って、自主的に授業に向かっています。椅子に座っている子や、床に座り込んでいる子など、日本では考えられない授業風景です。休み時間には子どもたちが「コンニチワ」と気さくに声をかけてくれます。



午後はESOLでイアン先生による英語の授業。英語を第2言語としている生徒たちへの授業で、すべて英語で行います。

◆22日(水) 体験学習

NZに来て初めての快晴です。まず、学校から近いドンキーファームを見学しました。NZの典型的な農家を一周りも二周りも大きくしたような農場で、羊や牛、山羊、鹿などたくさん動物にふれ合うことができました。

キャンディ工場ではチョコレートとキャンディづくりを見学後、生徒たちはお土産にたくさんキャンディを買って帰りました。

◆23日(木) 各教室で授業

快晴。気温も高く春のような陽気です。1時間目の授業の様子を見て回りましたが、黒潮町の生徒たちもクラスになじんだ様子です。

2時間目の休憩時間に、今年10月に来日するローレン先生とラー先生とで打ち合わせをしました。

◆24日(金) お別れ式・ハミルトン発オークランドへ

いよいよフェアフィールド中学校最後の日となりました。

午前9時から約750人の全校生徒がホールに集合し、レモニーが始まりました。まず、期間中に優れた成績を残した生徒を各先生方が全員の前で表彰しました。表彰式の後、生徒たちはハッピーを着て、植田くんのあいさつに続き、よさこいソーランを力強く踊り、盛大な拍手を受けました。

元ALITのソニアがお礼のスピーチをしっかりと行いました。10時30分、ホームステイ先の友達や先生方と別れを惜しみながら学校を後にしました。

オークランドに移動し、博物館や、スカイタワー見学やショッピングをしました。この日の夜は空港近くのホテルへ宿泊。到着後ソニアとはここでお別れです。日本でもALITとしてたくさん思い出を作ってくれ、今回の訪問でも大変お世話になったソニアを全員で見送りました。

8時45分オークランド空港を出発し、11時間の空の旅の後、17時20分に関西国際空港へ到着。飛行機を降りてからの日本の暑さに、帰ってきたことを実感しました。

◆25日(土)・26日(日) 帰国

翌朝、関西国際空港を出発し、伊丹空港経由で10時45分高知龍馬空港へ到着しました。13時30分に保護者や家族の方々の待つ佐賀支所へ到着。解散式を終え、全日程を終了しました。

今回の海外派遣では、派遣団の誰もが体調を崩すことなく、また、現地での事故などもなく、生徒たちもホームステイ先や学校で貴重な体験ができました。言葉や生活習慣の違い、慣れない食事など、生徒にとつては大変な1週間のホームステイだったと思いますが、フェアフィールド中学校の受け入れ態勢も良く、また、ホストファミリーの方々にも大変お世話になりました。

「NZで感じたこと」

佐賀中学校 3年 浅木 頼

8月16日僕はNZに旅立ちました。そこで僕は、NZの文化や生活に触れました。NZの鳥もたくさん見ました。NZにはキウイだけじゃなく珍しい鳥などがたくさんいるんだなと思いました。あと、マオリの文化にも触れました。村に行きそのマオリの踊りを観たり、ハンギ料理も食べました。決しておいしくはありませんでした。

「NZに行ってみよう」

佐賀中学校 3年 今西 星香

僕はこの海外派遣事業を将来、移住などをする時や日本で外国人と話す時、仕事で役立てたいと思いました。僕はこの海外派遣事業に参加できてすごく良かったと思っています。ありがとうございます。

私がNZに行つて強く思ったことが2つあります。1つ目は他の国との文化の差に驚きました。話す言葉以外にも食べている物や生活のリズムとかたくさん日本とは違う所がありました。こういう文化の違いを感じた時、私はもっとたくさん別の国に行つてみたいと思いました。NZに行つてみて、とても楽しかったし、わくわくしました。少し怖かったりもしたけど、もっと他の国も行つてみたいと思いました。私が一人で旅行に行けるようになったら、他の国を周ってみたいです。

今年10月には、平成19年以来となるNZからの訪問団が黒潮町を訪れました(その様子は来月号でお伝えします)。この国際交流事業を通じて、国際的な視野と幅広い心を持った人材が育っていくものと期待しています。最後に、この事業を実施するにあたりご理解とご協力いただいたております多くの皆さまに、感謝とお礼を申し上げます。報告といたします。



【NZ研修】

佐賀中学校 3年 今村 有花

私は、8月16日から11日間、海外派遣事業に参加させてもらいました。

NZでは、数えきれないほどたくさんのことを学ぶことができました。何より、ホームステイ先で過ごした1週間は本当にあつと言期間でした。英語をゆつくり話してくれたり、ご飯の量を考えてくれたり、気を使うこととは大切だけど、使わなくていい雰囲気を作ってくれて、私の緊張は、いつの間にか楽しみに変わっていました。

この事業に関わってくれたみなさん、本当にありがとうございました。また、11日間離れて親のありがたみを感じることができました。

私は、絶対、必ずNZに行きます。その時、ホームステイでお世話になった家族にもう一度会いたいです。

そして、NZへ行くこの事業がずっと続いていって欲しいです。本当に、ありがとうございました。



【NZ研修】

佐賀中学校 3年 藤本奈々瀬

私は、NZ研修に参加してみても、日本語が通じるありがたさをすごく感じました。NZの人たちに何か伝える時、自分が知っている英語や単語があつても、それを言ってみると全然通じなかったり、違う単語と間違えられたりして、話すだけでもすごく大変でした。

それに、ホームステイ先のお父さんたちや、学校の人たちみんな、明るくてたくさん話しかけてくれてすごく嬉しかったです。私たちが困っていたら、助けてくれたり、優しく教えてくれたりすごく嬉しかったです。

だから私も今度NZの人を迎える時に、私が経験したように、明るくたくさん話しかけたいし、困っていたら助けたいと思います。

私はこのNZ研修で、たくさんいい思い出ができました。NZ研修は私にとつてすごく良い経験になりました。参加して本当に良かったです。

【NZJCSJ】

佐賀中学校 3年 前田 莉穂

私がNZに行くって思ったこと、まず文化の違いがあつてもその国の文化が分かるので面白いしとても興味を持てました。

最初は不安でいっぱいだったし、ステイ先の人と仲良くなれるのかなと思うばかりでした。

それに食事も日本と違うと聞いていたので、それも心配でした。

でも、NZの人はとてもフレンドリーで、すぐ仲良くなれたし、話しやすかったです。ステイ先の方は私より年下だったけど、すごく大人っぽくて、おしゃれでびっくりしました。

でも最初の方はホームシックになつて大変だったけど、段々慣れていくうちに、帰りたいなくなっていました。

私はこういう体験ができてとても良かったと思うし、これからの活かしたいです。



【NZ研修】

佐賀中学校 3年 森 夏生

私はNZ研修で主に2つのことを学びました。

まず、1つ目は「愛国心の強さ」です。NZの人々は自分の国に誇りと愛を強く持っています。例えば「マオリ族」です。自分の国の民族に誇りを持っていてからこそ、ここまで伝えてくれたのではないのでしょうか。

2つ目は「言葉の違い」です。私は英語が好きなので、英語が母国語の国へ行けるのを楽しみにしていたのですが、行ってみると何を言っているのかすら聞き取れませんでした。もっと勉強していれば、もっと楽しめたのに、という後悔も少しだけあります。改めて英語の難しさ、自分の勉強不足に気付かされました。

この他にもたくさんのことから、NZのことをもっと好きになれました。そして、自分のいたならなさを発見できました。もっともっと英語を勉強し、いつか言葉の壁を感じないようになりたいです。これから努力していきたいです。

【NZ研修】

佐賀中学校 3年 矢野 勝雅

僕は、NZに行くってとても驚いたことがたくさんありました。家は大きいし、草原が広がり雲がきれいな所でした。日本はトイレに仕切りがあるのに、NZには仕切りがなかったことが、一番驚いたことです。NZでは、余り英語が通じなかったです。なので、通じる英語を身につけたいなと思いました。ホームステイでは、頑張って話そうとしたけど、余りうまく話せませんでした。その時に、もっと英語を勉強していれば、もっとしっかりと自分の気持ちや伝わるのになと思いました。見学地のマオリのコンサートは、とても面白かったです。話を聞いていて、とても楽しかったです。

最後に、NZへ行った体験はとても良かったです。英語が通じるとか通じないか良く分かった良い体験だと思いました。これからは、英語でしゃべれるようになります。





「NZに行ってみて、感想、感じたこと」

大方中学校 3年 植田 大輝

僕は、NZってどんなものがあるのか、NZに住む人たちの生活のスタイルや、文化が知りたいと思い今回の研修に参加しました。

実際に行ってみての感想は、とにかくNZの人は優しくかったです。気さくで親しみやすかったです。僕のおぼつかない英語も、しっかりと聞いてくれました。

食事文化なども、日本とは少し違っていました。僕がホームステイした家族では、ナイフとフォークで食事するのはもちろん、そして何より、メインの食べ物をたくさん作って、自分で好きな量を取るといふものでした。日本と外国では、いろいろ違うなと思いました。

僕が今回の研修で得たものは、NZの知識とNZでの友達です。その子はもうすぐ日本に研修に来ます。ホームステイになったら、日本のことをいろいろ教えてあげたいと思いました。



「NZ海外研修に参加して…」

大方中学校 3年 大崎 涼菜

「NZ海外研修」は長いようで短かったけれど、学んだことはたくさんありました。私の目と耳と口で感じたNZはどのような国だったのか、簡単にまとめて書こうと思います。

NZは自然が豊かです。日本ではなかなか見ることができないだろう、という緑豊かな景色を見ていて感じました。そしてNZの人々はとても親しみやすく温かい人たちばかりです。私は全く知らない人に何度か親切にしてもらいました。そしてもう1つ言うとしたら、NZの人々は伝統や文化をとっても大切にしていると思います。特に「マオリ族」の人々は、マオリの歴史を受け継いで大切にしています。またNZはエコ意識が高い国でもあります。本当に日本はNZを見習うべきだと思います。

この海外研修で学んだことは、将来に活かせるように一生忘れられないようにしたいです。

「NZに行く」

大方中学校 3年 小橋 沙季

NZに行つて、英語があまり話せなくても、伝えようという気持ちがあれば会話ができることが分かりました。また、自信もつきました。始めは聞き取れなかった単語が、8日間で聞き取れるようになりました。少しは上達したからです。

それに、もっと英語が話せるようになりたいと強く思いました。NZの人は家族をとっても大切にしています。家族との時間を大切にするということは、とても良いことだなと思いました。NZにいた間は、積極的な行動ができました。友達もできました。自然の美しさも感じて、自然豊かなこの黒潮町のことを誇りに思うようにもなりました。

いろいろな体験のおかげで、自分の考え方も広がりました。外国への興味も強くなりました。NZに行けて本当に良かったです。行かせてもらったことに感謝しています。NZからの生徒が来るのがとても楽しみです待ち遠しいです。

「NZに行つて私が感じたこと」

大方中学校 3年 野並 恵

私はNZに行つて、さまざまな体験をしました。例えば、あいさつと一緒にハグをされたのは初めてだったし、先住民「マオリ」の伝統的な料理を食べたりしました。訪れた現地の中学校で授業を受けたことは、すごく良い経験になりました。クラスのみんなと仲良くなれたのが最高の思い出です。

実は、NZに行く前は、外国に行くということに不安を抱いていました。何かを無くしたらどうしようとか、英語がちやんと伝わるか心配だったんです。でも、NZで出会った人たちがみんなが私を受け入れて、温かく迎えてくれました。そのおかげで、私は伸び伸びと行動して会話を楽しむことができました。気の小さい私が、さまざまなことに「チャレンジ」することができました。この気持ちをずっと大切にしたい、まずは高校受験に、それからいっばいある問題に勝つために「チャレンジ」していきたいと思っています。

「海外派遣事業を終えて」

大方中学校 3年 山崎麻夏美

NZは日本とは文化、習慣などすべてが違い驚くことばかりだったけど、日本とは違う生活を体験することができ、海外派遣事業を中身の濃いものにできました。

ホームステイで体験したNZの生活は日本と違って、食べる物も学校の始まる時間も終わる時間も、授業の仕方、生活リズムすべてが違いました。学校が終わるのは3時半ぐらいで早だし、寝る時間も8時半とかでとても驚きました。向こうでは、見るもの聞くものすべて英語で、会話をする時に伝わらなかつたり、単語が出てこなかつたりして困惑する場面も多かったけど日本ではできない貴重な体験ができました。

NZでは、言葉の違い、食文化、生活の違いが多く、分らないなかつたり、困ったりしてばかりだったけど、貴重な体験をし、楽しい海外派遣事業になりました。めったにできない体験ができ、本当に良かったです。ありがとうございました。